

## フジタ・スケール

フジタ・スケール ふじた・すけーる

Fujita scale 竜巻（アメリカ中南部の陸上でのトルネードが有名）は激しい空気の渦巻きで、大きな積乱雲の底から漏斗（ろうと）状に雲が垂れ下がってくるもので、その中心付近には激しい上昇気流が発生する。また、ダウンバーストは積乱雲の底から爆発的に吹き下ろす気流であり、これが地表に衝突して周辺の建物などを破壊する。アメリカで竜巻の研究をしていた藤田哲也博士（1920年～1998年）は1971年に世界で初めて竜巻の大きさを表す規格を作った。竜巻の風による家屋や自然物などの変化が、「風力計」の役目を果たしていると考え、被害状況から竜巻の風力の大きさを推測する基準を作った。これを「フジタ・スケール（Fスケール）」といい、竜巻とダウンバーストの強さが、F0からF5の6段階に分けられ、世界中で竜巻の大きさを決める基準として使われている。図1にフジタ・スケールと竜巻の被害状況を示す。

---

<登録年月>

2006年12月

---

---

	ほとんど 影響なし	少々の 被害	屋根が 飛ぶ	壁が 崩れる	なき倒 される	吹き飛ば される
弱い 納屋				F0	F1	F2
強い 納屋			F0	F1	F2	F3
弱い 木造家屋		F0	F1	F2	F3	F4
強い 木造家屋	F0	F1	F2	F3	F4	F5
レンガ作りの 建物	F1	F2	F3	F4	F5	
コンクリート 建築物	F2	F3	F4	F5		



図1 フジタ・スケールと竜巻の被害状況

[出所]竜巻博士の研究室:科学組織実験室、  
[http://www.fujita-scale.com/lab\\_index.html](http://www.fujita-scale.com/lab_index.html)